



CS 川越市立南古谷小学校 学校だより 5月号

令和7年4月30日発行



なのはな



【学校教育目標】

- かしく
- ゆたかに
- たくましく



さわやかな あいさつの声と こいのぼり

校長 嘉手川 満

さわやかな風の中を、元気よく泳ぐこいのぼりの姿が、街のあちこちで見られるようになりました。こどもたちの健やかな成長を願う親の気持ちは、いつの時代になっても同じです。まずは、健康第一。このゴールデンウィークでは、様々な体験を楽しみながら、健康や安全に気を付けて過ごしてほしいと思います。

朝の登校指導をしていると、進んであいさつできる子が増えてきたなと感じます。入学した1年生も、元気よくあいさつできる子がたくさんいて、感心します。

4月の始業式、私からこどもたちに、こんな話をしました。

「私は小学生のとき、あいさつが苦手でした。しかし、勇気を出してあいさつしたら、相手と気持ちが通じた気がしてうれしかったことを覚えています。あいさつは、少し勇気をだせば誰でもできます。あいさつは、今だけでなく、中学生になっても、大人になっても、いつでもどこでも大切なものです。今日から、あいさつ日本一を目指していきましょう。」

おはよう
ございます!



学校では、毎日こどもたちのにぎやかな声が響いています。友達と学習したり遊んだりすることは、子供たちの元気の源です。友達同士のつながりを、子供たち自身が大切にし、心が元気だからこそ、元気なあいさつができるのだと感じます。

学校だよりの一番上に、本校の「5つのじまん」があります。その1つが「あいさつ」です。ご家庭や地域でも、たくさんのあいさつを、こどもたちに、そして互いに伝え合っていきましょう。こどもも、大人も、いつでも、どこでも、誰とでもあいさつができる、そんな温かい学校、温かい南古谷地区にしていきたいと思っています。

さわやかな5月、さわやかなあいさつで、頑張っていきたいと思います。